

バス車内事故防止のお願い

「立つのはバスが止まってから」

バスは安全運転を心掛けていますが、交通状況により急ブレーキや急なハンドル操作が必要になる場合があります。走行中に席を立ったり移動したりすると、転倒して大きなけがにつながるおそれがあります。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



1 バスが完全に停車してから席を立ちましょう

降車のために早めに席を立つと、急ブレーキなどで転倒し、けがをすることがあります。お降りの際は、バスが停留所に着いて**完全に止まってから**お立ち下さい。



バス事故の状況(全国)

バス事故のうち、
車内事故は、**約3割!**



車内事故による負傷者の約7割が高齢者です。

出典:国土交通省「事業用自動車の事故統計(令和6年度版)」



2 立って利用するときは手すり・つり革をしっかり持ちましょう

バスは安全運転に努めていますが、事故を避けるため急ブレーキをかける場合があります。立席の場合は、**必ず手すりやつり革につかまってください。**



3 走行中の移動は控えましょう

走行中の席の移動は、転倒事故につながります。降車の準備や席の移動は、バスが停車してから行いましょう。



一般ドライバーの皆さまへ

停留所から発車するバスの直前への割り込みや急な車線変更は車内事故の原因になります。

バスの安全運行にご理解とご協力をお願いします。



国土交通省YouTubeチャンネル
バス車内事故防止のための啓発動画より

4 高齢者の皆さまへ

車内事故による負傷者の多くは高齢者です。転倒による骨折など、重傷につながる場合があります。時間に余裕を持って、安全に乗り降りしましょう。

